

## 報告書

研究課題：(A02) 概日リズム周期の決定機構解明と操作

報告者：金沢大学医薬保健研究域医学系・教授 三枝理博

招聘者：Erik Herzog 教授 (Washington University in St. Luis、米国時間生物学会(SRBR)・会長)

招聘期間：令和元年 10 月 10 日～15 日

招聘場所：東京大学理学部、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構、金沢市文化ホール、  
金沢大学医学類

目的：第 26 回日本時間生物学会学術大会での講演、各大学での研究セミナー・情報交換

---

### 10 月 10 日

東京大学理学部生物化学科（深田吉孝教授・日本時間生物学会理事長）において、第 1306 回生物科学セミナーに登壇していただき、概日リズム研究についての議論と情報交換を行った。

### 10 月 11 日

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIIS）において、船戸弘正教授（A02-4 長瀬班）の主催で、第 161 回 IIIS セミナーに登壇していただき、議論と情報交換を行った。

セミナー後に IIIS の主任研究者らと各 30 分集中的に面談し、体内時計と睡眠調節を統合する、将来的な共同研究の可能性を探った。

### 10 月 12 日～13 日

金沢市文化ホールで開催された第 26 回日本時間生物学会学術大会に参加していただき、発表者と多くの議論・情報交換を行った。

13 日には「What wakes us: Networked circadian clocks in the brain」のタイトルで特別講演をして頂いた。視交叉上核の中核時計と脳内末梢時計との相互作用による生体機能制御に関する、Herzog 氏の最新の研究成果が発表され、約 300 名がディスカッションおよび聴講者として参加し、大盛況であった。



### 10 月 14 日

金沢大学医学類の招聘者の研究室において、中枢時計神経ネットワーク研究についてのディスカッション・情報交換・共同研究の打ち合わせを行った。

### 参考 URL

<http://neurophysiol.w3.kanazawa-u.ac.jp/26jsc/>

